

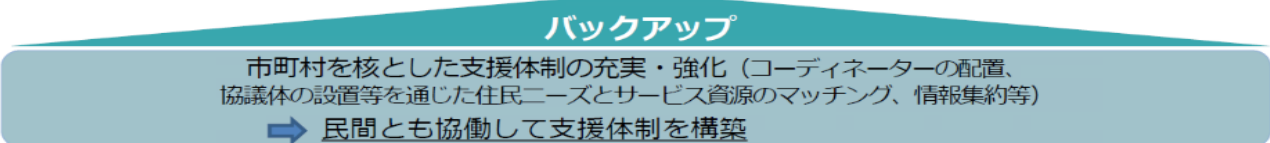
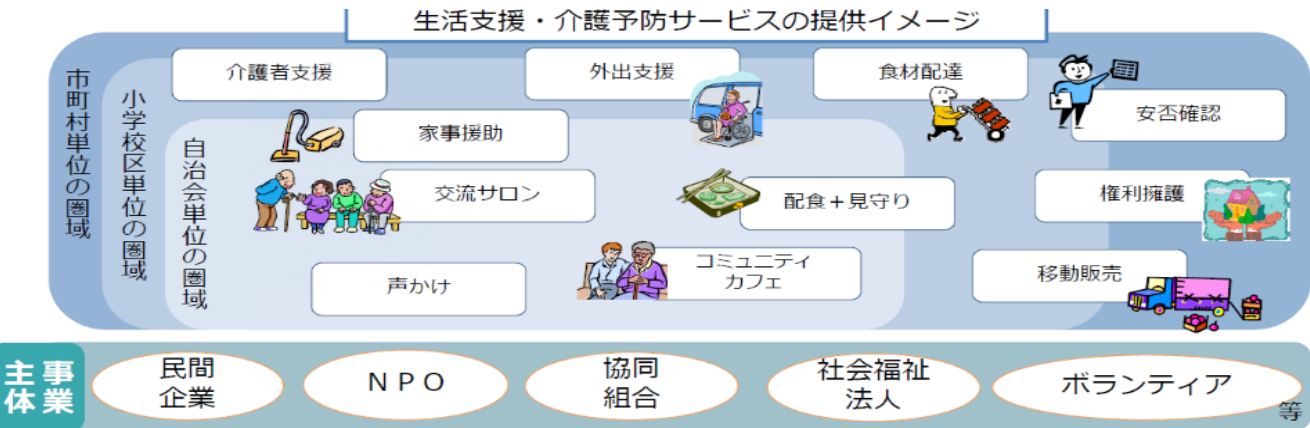
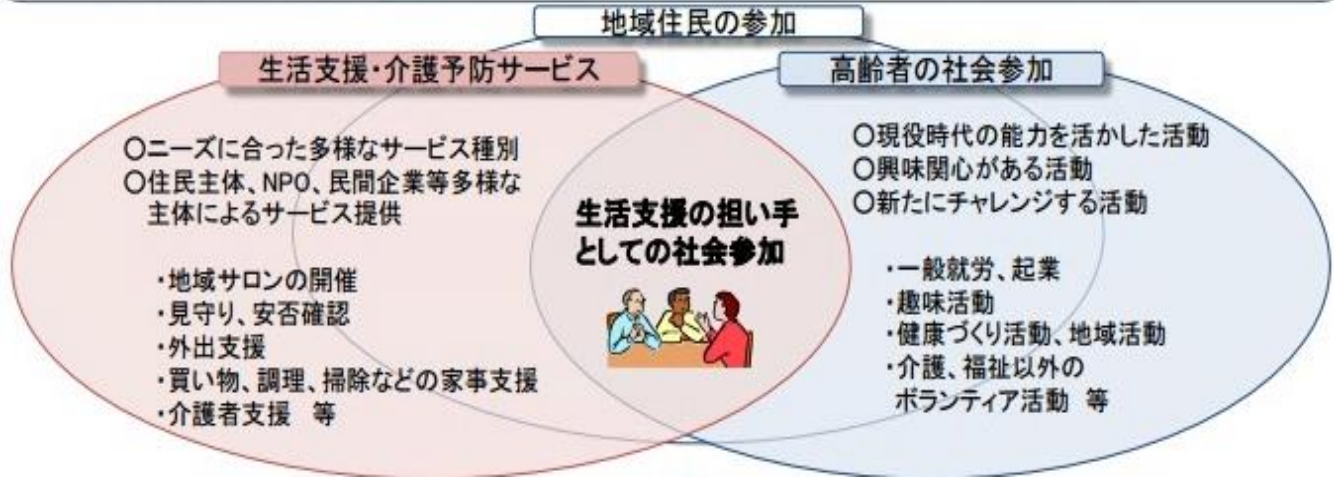
生活支援体制整備事業について

基本方針 2 (3) 生活支援体制の整備

生活支援体制整備事業については、ニーズの多様化により、公的サービスだけではなく、多様な主体による生活支援サービスを地域で提供していくことが求められてきました。当市においては、H27 年度より協議体（研究会）を設置して協議を開始し、H28 年度からは生活支援体制整備推進会議（第 1 層）として協議を進めるとともに、生活支援コーディネーターを社会福祉協議会に配置して、地域の課題解決に向けて様々な取組みを行って来ました。

生活支援・介護予防サービスの充実と高齢者の社会参加

- 単身世帯等が増加し、支援を必要とする軽度の高齢者が増加する中、**生活支援**の必要性が増加。**ボランティア、NPO、民間企業、協同組合等の多様な主体が生活支援・介護予防サービスを提供することが必要。**
- 高齢者の介護予防が求められているが、**社会参加・社会的役割を持つことが生きがいや介護予防につながる。**
- 多様な生活支援・介護予防サービスが利用できるような地域づくりを市町村が支援することについて、制度的な位置づけの強化を図る。具体的には、生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やそのネットワーク化などを行う「**生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）**」の配置などについて、**介護保険法の地域支援事業に位置づける。**



① 生活支援体制整備推進会議等の継続的な開催

生活支援体制整備推進会議（第1層）は、町会、地区社協、民生委員、ボランティア団体、商店会などの代表と、高齢者あんしん相談センター職員など、「地域」の要となるメンバーで構成しており、把握した地域の課題について議論しながら、地域のちょっとした困りごとは、地域で解決できるような体制づくりを目指しています。

市全域（第1層）だけではなく、日常生活圏域（第2層）ごとに検討・議論できるような会議等が開催できるよう取組んできました。

	第7期計画 目標値		
	H30年度	R元年度	R2年度
開催回数	5	6	7

	第7期計画 実績（見込）値			第8期計画 目標値		
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
開催回数 （第1層）	3	2				
開催回数 （第2層）	4	14				

○第2層協議体の設置に向けた取組み

	H30年度	R元年度
第1圏域	関係者会議 5回	関係者会議 30回 南畑地域会議の開催 3回
第2圏域	関係者会議 4回	関係者会議 5回
第3圏域	関係者会議 4回	関係者会議 12回
第4圏域	関係者会議 4回 座談会の開催 4回 視察の受け入れ 1回	関係者会議 34回 気楽にいこう会(座談会等)の開催 11回
第5圏域	関係者会議 5回 視察の受け入れ 2回 (水谷東地域支え愛隊)	関係者会議 20回 視察の受け入れ 6回 (水谷東地域支え愛隊)

【現状・課題】

- ・第2層協議体の設置に向けて、H30年度から地域の方々や関係者と一緒に課題解決に向けた協議を丁寧に進めてきたので、自分達の住む地域についてどうしていきたいかという意識が高まった方が増えてきていると感じている。
- ・地域ごとの実情に合った事業を展開することが重要であることから、第2層（日常生活圏域）の中より身近な地域において、地域の方々の活動に伴走しながら、今後も様々な手段で支援していくことが必要である。

*南畑地域会議の開催（第1圏域）

南畑地域の地区社協役員、社会福祉関係施設や民間団体を対象に、地域について話し合う場としてR元年8月より展開している。地域の通いの場づくり（ふじみパワーアップ体操）や、移動支援に関わる地域課題について、話し合いを進めている。

参加者は団体や組織の代表者が中心で、地域代表者と社会福祉関係施設との接点が生まれた。副次的な効果が功を奏し、災害時の取り決めなど話し合われる場面があった。

社会福祉関係施設で行っている移動販売の話題提供と、移動困難者やそれに付随する買い物難民等に話題が進み、リンクし取組みに発展させていくところで、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議開催が停止となっている。



*気楽にいこう会の開催（第4圏域）

西みずほ台、針ヶ谷地域の住民を対象に、地域について話し合う場として、H30年8月より展開を始めた。H30年度は座談会等を開催し住民への周知を目的に取り組んだ。

R元年度は民間のスペース（大東ガス株プチフラム富士見）の会場を借用し、地域づくりと仲間づくりの場を設定し月1回の定期開催を行っている。

これまで実人数39名参加があり、現在12名のコアメンバーを中心に開催している。名称も参加者による総意で“気楽にいこう会”に決定されたところである。

地縁組織との親和性も高く、既存団体による会議の場で“気楽にいこう会”について話し合われていたり、地域の広報誌等でも情報を周知したりしてくれている。

地域の新しい居場所として、地域について話し合い、時に活動に発展していく場へと形成されつつあったが、日中の開催のため、参加される世代に偏りがあることが課題であった。

現在、西みずほ台、針ヶ谷地域の資源マップづくりに向けて話し合いが進み、これからワークショップを開催していこうかと考えていた矢先に、新型コロナウイルス感染症の影響により、“気楽にいこう会”の定期的な開催が出来なくなっている。



***水谷東地域支え愛隊の活動（第5圏域）**

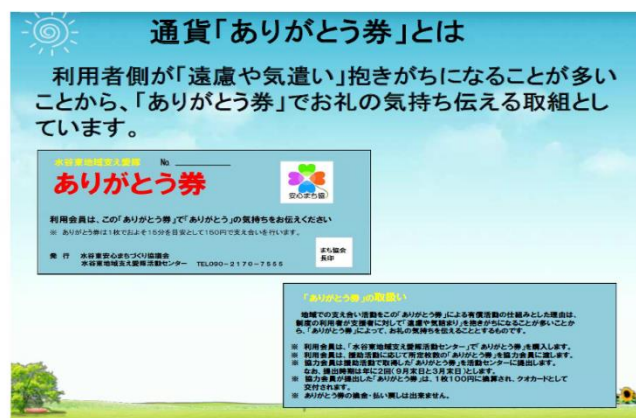
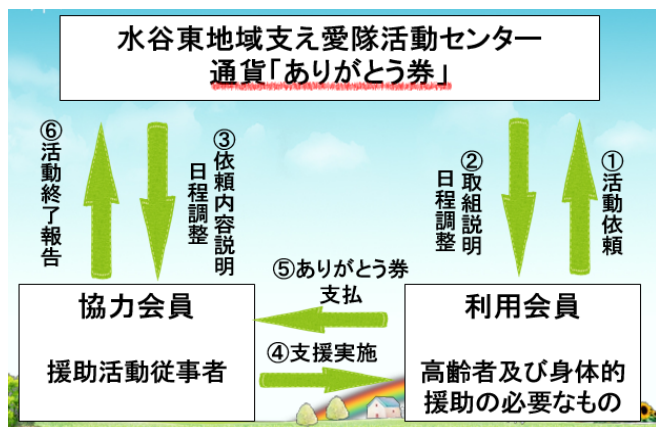
H29年1月より活動が開始され地域の困りごとが集まり、住民の手により解決していく仕組みとして確立している。15分150円での有償ボランティア活動である。

この活動は、地域の皆さんが日常生活で困っていること（毎日のゴミ出しや買い物、電球交換など）を継続して支援することを目的としており、地域住民が『お互いさま』『向こう三軒両隣、困ったときの助け合い』という気持ちをもって、地域でちょっと困っている高齢者や身体的援助の必要な方に、「出来る人が」「出来るときに」「出来ることを」「できる範囲で」お手伝いをし、市民の日常生活を地域全体で支えていくための有償ボランティア活動として、水谷東小学校区の地域で活動を行っています。

活動開始前より、生活支援コーディネーターとして相談を受け様々な支援を行っており、現在も活動の後方支援をしているところである。

新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言中は屋内での活動のみ停止していたが、現在は試行錯誤しながら活動を続けている。

水谷東地域支え愛隊の活動は、先進事例として県内外の自治体や団体からの視察受け入れを行ったり、県社協発行のDVD作成（県内の自治体、包括、社協へ配布）への参加協力をいただき先進事例として紹介されたりしている。



活動実績（R2年6月15日現在）

協力会員 64名、利用会員 81名、コーディネーター人数 12名、
活動件数 239件、活動時間 358時間15分、
ありがとう券発行枚数 1,524枚、ありがとう券利用枚数 1,433枚

② 生活支援コーディネーターの活動の拡大

H30年度から生活支援コーディネーターは2名となり、市全域（第1層）と日常生活圏域（第2層）を兼務して活動を行っています。今後も地域ごとのニーズに合わせた具体的な生活支援サービスの創出に向けて、きめ細かく取組んでいく必要があります。

ニーズの把握については、生活支援コーディネーターが、町会やまちづくり協議会、地区社協・市民団体等の既存コミュニティの輪の中に入り込み、会議などに参加し、世間話や検討課題を共有しながら信頼関係を築くことではじめて把握できるものです。また、高齢者あんしん相談センターごとに開催される地域ケア圏域会議にも参加し、地域課題解決に向けての現状把握に努めています。

○生活支援コーディネーター配置数

	第1層	第2層
H28年度	1名	—
H29年度	1名（第1層・第2層を兼務）	
H30年度	2名（第1層・第2層を兼務）	
R元年度		
R2年度		

【現状・課題】

- ・生活支援コーディネーターは、第1層と第2層の兼務かつ委託先が1法人のみであることから、連携が容易である。
- ・日常生活圏域（第2層）の地域ごとのニーズに合わせた支援を行うには人員不足を感じており体制の拡充が必要。

○生活支援コーディネーター活動回数（会議等への参加数）

	第7期計画 目標値		
	H30年度	R元年度	R2年度
活動回数	250	300	400

	第7期計画 実績（見込）値			第8期計画 目標値		
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
活動回数	410	815				
（第1層相当）	257	462				
（第2層相当）	153	353				

【現状・課題】

- ・会議等に参加した際は、地域の特性に合わせて、地域の関係づくりや支え合いの視点、社会資源の情報提供等を伝えるようにしている。
- ・2名体制での生活支援コーディネーターの活動が発展し、会議等への参加件数が急増したため、活動回数が増加している。
- ・R2年度は新型コロナウイルスの影響により、活動が難しくなっている。

○活動報告・普及啓発の取組みについて

	H30 年度	R 元年度
参加人数	99人	247人
対 象	高齢者サロン参加者等	市民等（地区社協等の活動者）
場 所	老人福祉センター びん沼荘	キラリ☆ふじみ マルチホール
内 容	富士見市の 支え（られ）るコレクション	地域つながる おとなりフェス

【現状・課題】

- ・人々がつながる地域づくりのヒントを見つけてもらうため、基調講演や生活支援コーディネーター業務の周知・活動報告、地域活動者・活動団体の事例発表、地域活動の紹介等を行う取組みを企画し、年1回開催している。
- ・H30年度はサロン参加者等を対象として、本事業の取組み説明や元気高齢者の役割、社会参加の必要性について啓発を実施した。R元年度は地区社協等の地域活動者の市民をメインターゲットとし、広く市民に向けて本事業の進捗報告や、これからの地域活動について市内外の先進事例を交えて紹介した。
- ・毎年継続して開催していきたいが、R2年度については、新型コロナウイルスの状況を見ながら、開催できるかどうか検討をしているところである。

**富士見市の
支え(られ)るコレクション
~2018~**

住み慣れた地域で、生きいきと生活するヒントを
みつけませんか？

日時 平成31年3月28日(木)11時~15時30分
会場 老人福祉センター びん沼荘 (要予約)

申込み 富士見市社会福祉協議会へ直接または電話で
対象 65歳以上の市内在住の方
参加費 300円 当日は好評好評だったカレーライスを用意いたします

内容
【大 和 室】 変える・変えられるコレクションの発表
食のある居場所や地域の取り組み等を発表予定
【大会議室】 ふじみパワーアップ体操体験
訪問マッサージ体験、訪問理美容体験等を予定
【その他】 採れたて野菜の販売や手作りクッキーの販売も
予定
昨年度の食の香のす
(一頭抜粋)
・体験コーナーは盛り上がり、ストレス
発散でも実感された
・訪問のマッサージや理美容は今後の参考になった
・これから地域へ顔を出していきたい

主 催：富士見市社会福祉協議会・富士見市



—2019年度—
富士見市生活支援体制整備事業
地域の未来を考えよう！

**地域つながる
おとなりフェス**

日 2020年1月28日(火) 13:30-16:00
(受付開始 13:00)

会場 キラリ☆ふじみ マルチホール
(〒354-0021 富士見市大字職員1803-1)

定員 250名

申し込み不要、参加費無料です
当日参加の場までご連絡ください

参加者特典
南煙座！特製『支え米』
プレゼント

富士見市社会福祉協議会
TEL: 049-254-0747
FAX: 049-255-4374
富士見市役所 高齢者福祉課
TEL: 049-251-2711 (相談窓口)
FAX: 049-251-1025



	H30 年度	R 元年度
普及啓発	第1層相当19回（580名） 第2層相当32回（648名）	第1層相当63回（1,106名） 第2層相当43回（751名）
（上記うち、 出前講座の依頼）	9回（204名）	11回（210名）

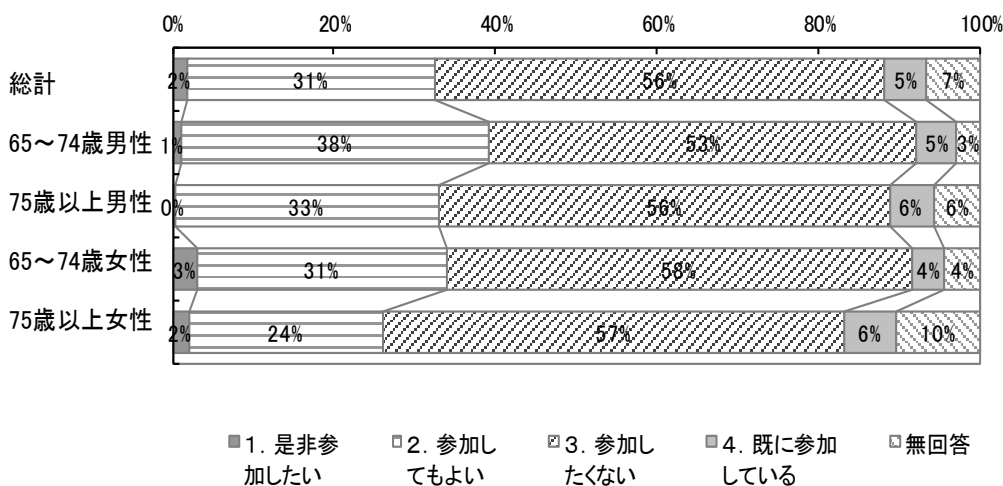
【現状・課題】

- ・普及啓発については、様々な会議に参加した際に本事業の取組み説明や生活支援コーディネーター業務の周知をしている。様々な場で普及啓発に取り組むことができているが、出前講座としての依頼はまだ少なく、事業の認知が低いことが課題である。
- ・R2年度は、新型コロナウイルスの影響により普及啓発の機会が減っている。

* 「富士見市高齢者等実態調査報告書（令和2年3月）」より抜粋*

第6章 問3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 是非参加したい	40	2%	5	1%	1	0%	18	3%	12	2%
2. 参加してもよい	669	31%	173	38%	154	33%	179	31%	146	24%
3. 参加したくない	1,214	56%	240	53%	263	56%	335	58%	345	57%
4. 既に参加している	113	5%	22	5%	26	6%	24	4%	39	6%
無回答	143	7%	13	3%	26	6%	25	4%	63	10%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%

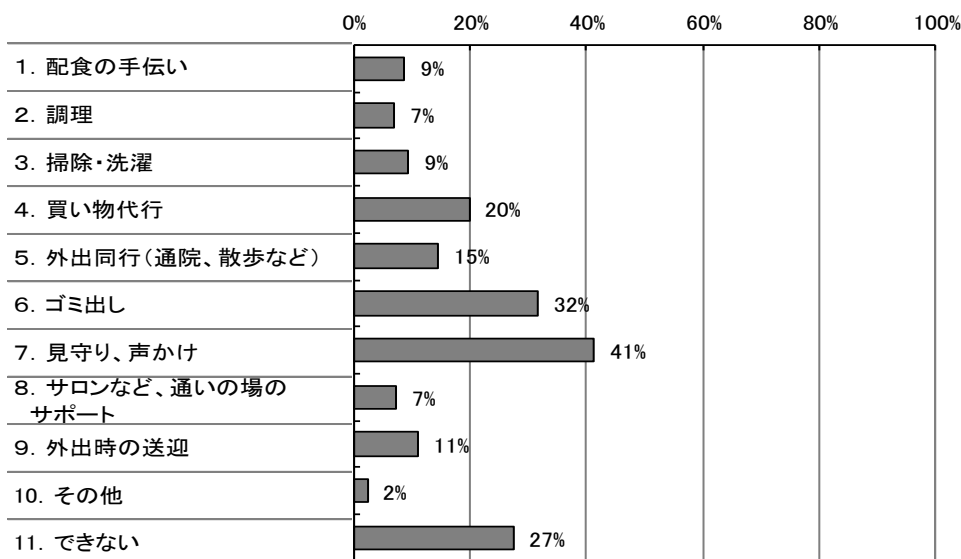


「有志による地域づくり活動の企画・運営」に、「既に参加している」は約5%で、「参加したい・参加してもよい」は3割強となっています。

日常生活圏域別にみると、年齢別・性別ごとの集計結果も含め、大きな違いはないものの、例えば、第2圏域では、65～74歳男性の「参加してもよい」の割合が他の圏域と比較してやや高いなど、傾向の違いがみられる層があります。

第7章 問9 あなたは地域でどんな支援ができると思いますか（○はいくつでも）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 配食の手伝い	191	9%	21	5%	19	4%	95	16%	49	8%
2. 調理	153	7%	19	4%	12	3%	75	13%	43	7%
3. 掃除・洗濯	206	9%	25	6%	34	7%	87	15%	52	9%
4. 買い物代行	432	20%	98	22%	66	14%	166	29%	95	16%
5. 外出同行（通院、散歩など）	316	15%	94	21%	54	11%	98	17%	64	11%
6. ゴミ出し	690	32%	152	34%	144	31%	219	38%	162	27%
7. 見守り、声かけ	901	41%	202	45%	179	38%	302	52%	204	34%
8. サロンなど、通いの場のサポート	159	7%	24	5%	19	4%	73	13%	40	7%
9. 外出時の送迎	240	11%	107	24%	62	13%	46	8%	20	3%
10. その他	50	2%	16	4%	14	3%	14	2%	6	1%
11. できない	598	27%	114	25%	146	31%	101	17%	220	36%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%

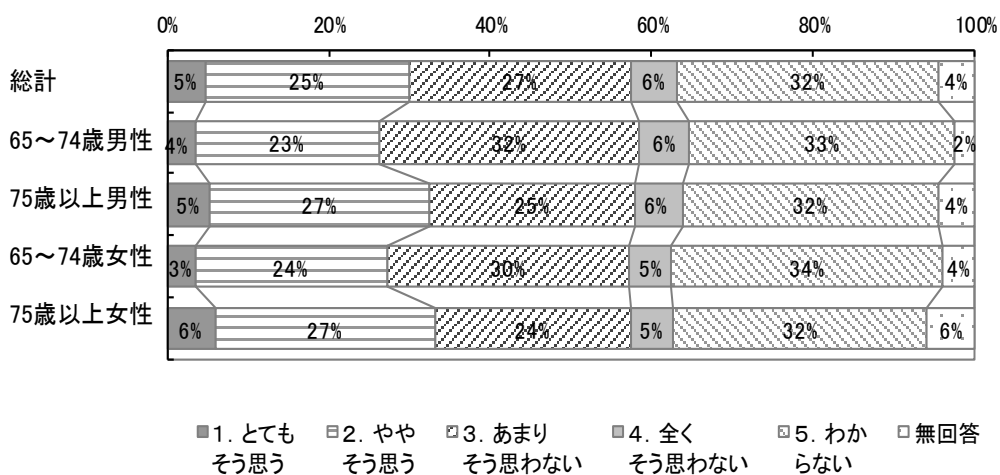


「地域で行える支援」については、「見守り、声かけ」に約4割の回答があるほか、「ゴミ出し」にも約3割の回答がみられます。

日常生活圏域別にみると、圏域によって大きな差はみられませんが、「見守り、声かけ」が第1圏域で他の圏域より割合が高い傾向がみられます。

問11 あなたの地域は「たすけあい支えあえるまち」になっていると思いますか(○は1つ)

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. とてもそう思う	102	5%	16	4%	25	5%	20	3%	36	6%
2. ややそう思う	552	25%	103	23%	128	27%	138	24%	165	27%
3. あまりそう思わない	597	27%	146	32%	119	25%	175	30%	146	24%
4. 全くそう思わない	125	6%	28	6%	28	6%	30	5%	32	5%
5. わからない	705	32%	149	33%	149	32%	195	34%	191	32%
無回答	98	4%	11	2%	21	4%	23	4%	35	6%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「たすけあい支えあえるまち」になっていると思うかについては、「わからない」も多いものの、「そう思う」と「そう思わない」は概ね拮抗している状況です。

日常生活圏域別にみると、大きな傾向の違いはみられませんが、第1圏域、第5圏域でやや「そう思う」の割合が高い傾向がみられます。